

一問一答方式・質問要旨	備考
<p>【1】3番 高橋 公 議員 1「小諸アグリシフト」について (1)「小諸アグリシフト」の概要について ①この事業の概要と、始めた背景・目的は何か ②具体的な取組内容と、投じた事業費はどのくらいか (2)小諸市の農の魅力の発信について ①小諸市の農の魅力とは何か、また魅力のデータ化はできているか ②その魅力発信の主体となる事業は何か (3)市民との協働について ①「アグリシフト」は市民協働か、若しくは市行政の内部で完結できる事業か ②市民協働には、市民・農家に目に見えるメリットが必要ではないか (4)「小諸アグリシフト」の今後の取組について ①今後の展開方法と、それに対する課題は何か ②展開方法・課題を踏まえ、近未来に目指している着地点はどこか</p>	40分
<p>【2】9番 山浦 利夫 議員 1 小諸市コミュニティバス運行事業について (1)こもろ愛のりくん及び愛のりすみれ号の運行変更について ①運行変更への市民からの意見に対する市の考え方が公表されたが、市民からの相談や新たな意見はあったか ②愛のりすみれ号は全路線休止となるが、こもろ愛のりくんに対応できないニーズへの対応は別途考えているか ③令和3年8月からの運行変更を予定しているが、運行変更への対応に課題はないか ④運行変更後において市民アンケートを実施する考えはあるか (2)持続可能な運行に向けた経営改善について ①これまでの運行事業費等について、どのように受け止めているか ②経営改善に向けた取組について、どのように考えているか</p>	40分
<p>【3】18番 福島 鶴子 議員 1 人口減少に負けず持続可能な小諸市を目指すことについて (1)地域力を維持強化し、担い手となる人材確保の一つとしての「地域おこし協力隊」について ①「協力隊」導入に際し、小諸市としての目的はどこに置いたか ②受け入れに際し、地域での活動が円滑に行えるよう受け入れやサポート体制はどのように準備されたか ③「協力隊」の導入には「三方よし」の効果があると言われる。小諸市の場合、どうであったか ④「協力隊」受け入れによって「地域の活性化度」に変化は見られたか ⑤「協力隊」受け入れの目的の一つに「定住」への期待があるが、定住率はどのように評価しているか ⑥定住に結び付けるためのポイントはどこにあると考え、具体的にどのような対応をしてきたか ⑦今までの受け入れを検証し、今後に向けて課題としていることは何か</p>	40分
<p>【4】4番 土屋 利江 議員 1 男女共同参画の推進について (1)「男女共同参画こもろプラン7」について ①「こもろプラン6」の検証において課題はあったか ②「こもろプラン7」の策定において特に取り入れた事業等は何か ③具体的な目標4の「市政における女性参画の推進」の中で、各種審議会等への女性の参画率の目標を45%と掲げているが現状と課題は何か ④女性職員の幹部職員への登用について、現状と今後の見込みはどうか ⑤男性職員の育児休業取得率の現状と課題は何か ⑥コロナ禍における、女性への就業支援と相談支援の現状と課題は何か</p>	40分